

施設供用制度の見直しについて

令和元年10月
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構

1. 現在のJAEAの供用施設（11施設）

○施設供用制度による供用施設

・中性子利用・照射後試験施設

- ①JRR-3(東海) ②ホットラボ(大洗) ③常陽等(大洗)
- ④燃料試験施設(東海)

・イオン加速器施設

- ⑤タンデム加速器(東海)

・放射光利用施設

- ⑥大型放射光施設 SPring-8(播磨)

・加速器質量分析施設

- ⑦ペレトロン年代測定装置(東濃)
- ⑧タンデトロン施設(むつ)

・校正用施設

- ⑨放射線標準施設(東海)

・遠隔技術開発試験施設(補助金事業)

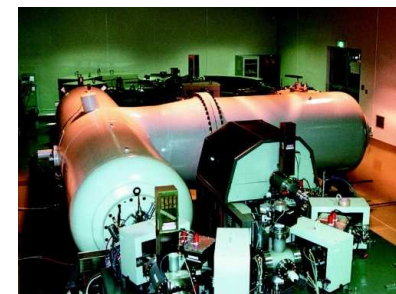
- ⑩モックアップ試験施設(檜葉)

・廃止措置実証試験施設(補助金事業)

- ⑪スマートデコミッション施設(敦賀)



JRR-3



タンデトロン施設



ペレトロン年代測定装置



SPring-8



檜葉モックアップ試験施設

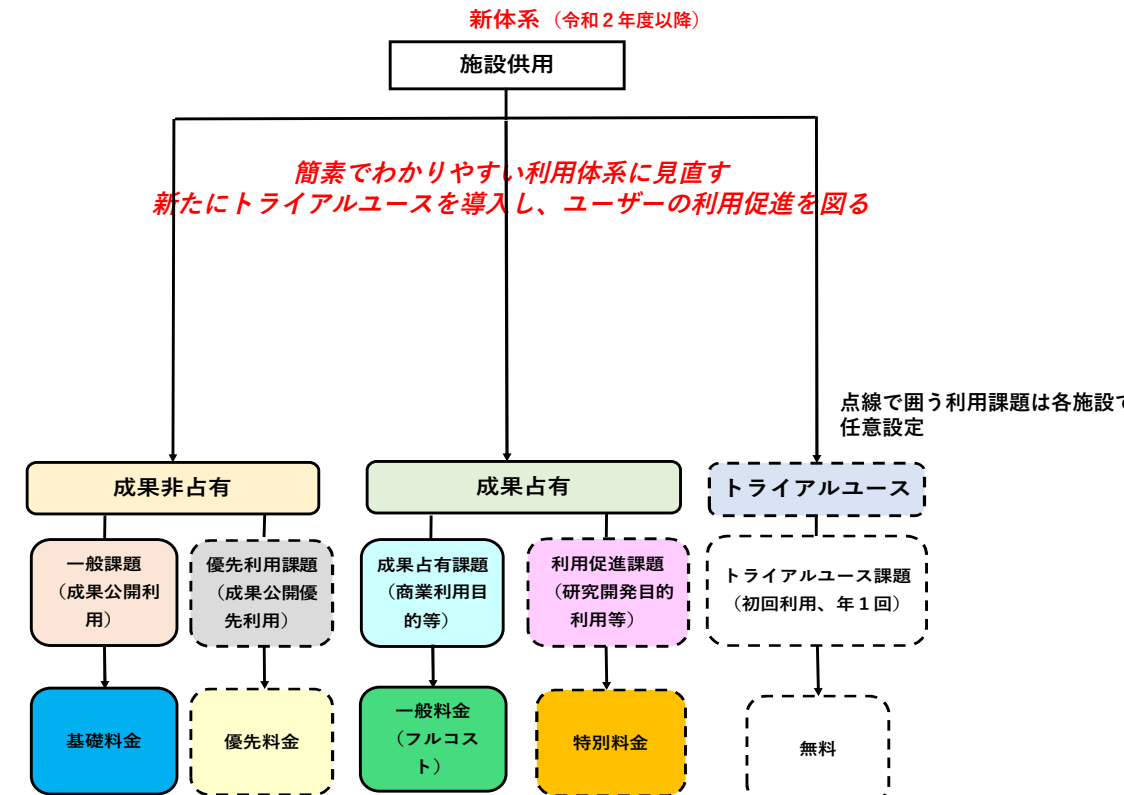
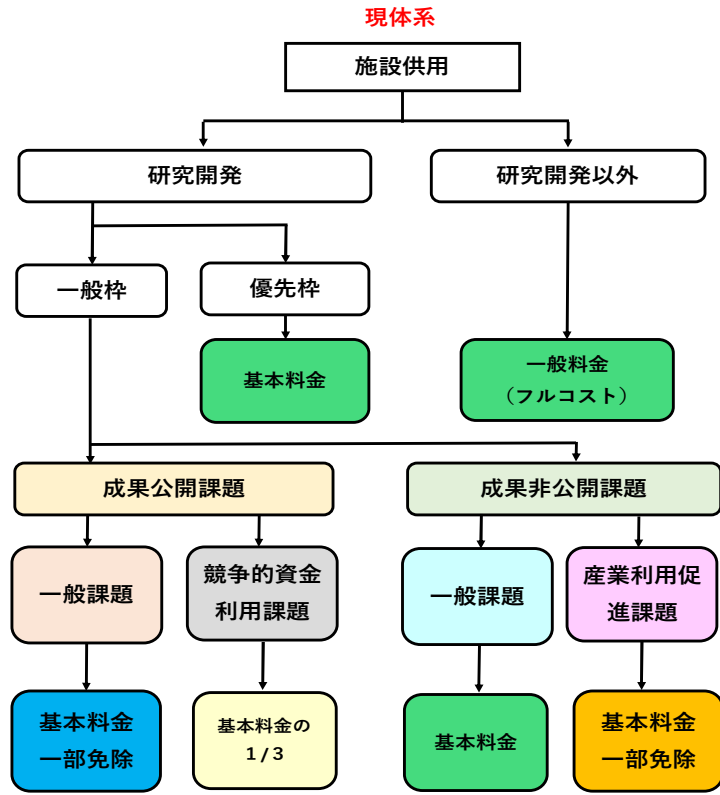


ふくいスマデコ実証施設

2. 利用体系の見直し

新利用課題一覧

- 成果非占有 一般課題 . . . 研究成果を占有せず（論文発表等の成果公開を行う）利用を行う課題
- 成果非占有 優先課題 . . . 研究成果を占有せず（論文発表等の成果公開を行う）国等で採択された競争的資金を利用した課題
課題審査を省略し、優先的なマシンタイムの配分を行う課題
- 成果占有 一般課題 研究成果を占有し（成果公開を行わない）、商業利用目的等での利用を行う課題
- 成果占有 利用促進課題 . . . 研究成果を占有し（成果公開を行わない）、産業利用、学術利用に限らず、研究開発目的等での利用を行う課題
- トライアルユース 産業利用（学術利用を除く）による今後の機構施設の利用に繋がるような利用を行う課題



3. 利用料金の見直し

料金算定項目の見直しを行い、共助分担（施設等をシェアし、利用者全員で費用を分担する）の考え方に基づき、成果占有の場合は、利用時間に応じた所要の利用料金とします。ただし、論文等により研究成果を公表する成果非占有の場合は、国際標準を踏まえ、可能な限り利用料金を低廉に努めます。

また、産業利用等の拡大を促す観点から設ける、トライアル利用（年1回）の場合は、無償とします。

料金区分	現行料金					新料金（令和2年度4月以降）				トライアル ユース TU
	研究開発 以外	研究開発 非公開 （一般）	研究開発 非公開 （産業）	研究開発公 開（競争資 金）	研究開発公 開（一般）	成果占有		成果非占有		
算定項目（最大）	一般料金	基本料金	基本料金 一部免除	基本料金の 1/3	基本料金一 部免除	一般料金	特別料金	優先料金	基礎料金	無料
(1) 減価償却費	○					○	○			
(2) 施設保守費	○	○		○		○	○			
(3) 人件費	○	○		○		○				
(4) 核燃料費	○	○		○	1/3	○	○			
(5) 維持費	○	○		○		○	○	○		
(6) 光熱水費	○	○		○		○	○	○		
(7) 放射性廃棄物処理費	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(8) 消耗品費	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
間接費（1～8合計）×○%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

注1：上記料金区分にかかわらず、取扱い手数料は一律13,300円を徴収

注2：間接費は各算定項目の合計に対し、現行料金では24%、新料金では30%を乗ずる

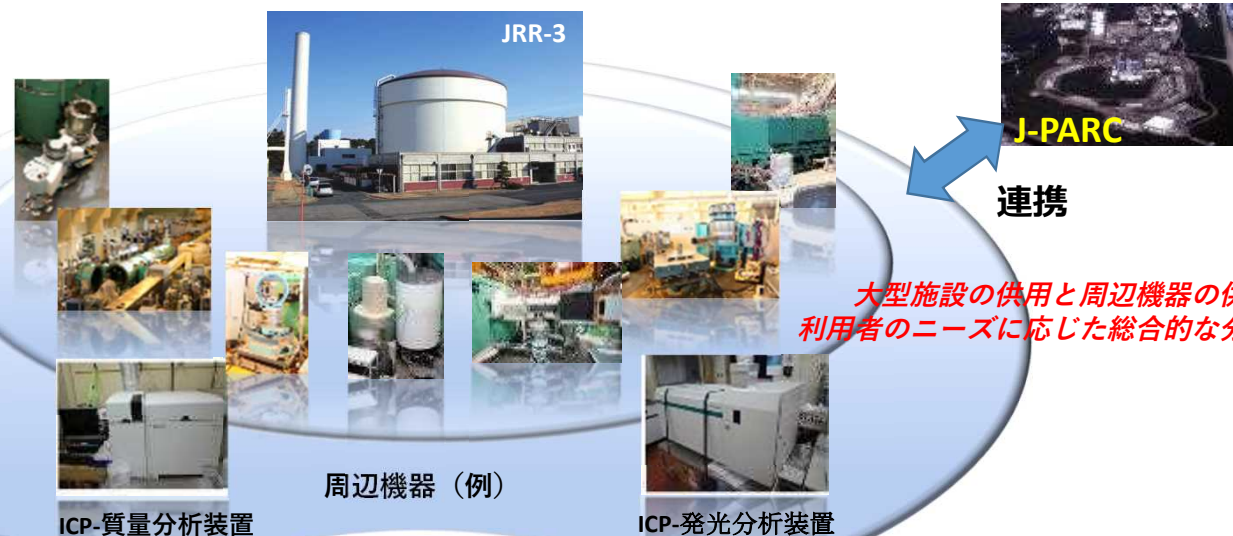
注3：補助金施設(モックアップ試験施設（檜葉）、ふくいスマートデコミッションング技術実証拠点（敦賀））は、補助金事業の趣旨を踏まえ、利用料金を柔軟に設定

4. 今後の供用機能の強化について

運転再開予定のJRR-3を中心とした供用プラットフォームを構築し、全拠点に展開を行い、機構施設の供用を通じて、国内外の様々な研究者が集まる「共創の場」を構築し、オープンイノベーションを推進するとともに、我が国の原子力人材の育成や科学技術と産業の発展に貢献する。

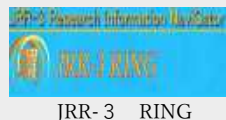
新しい利用体系の構築

従来の成果非占有利用（成果公開）、成果占有利用（成果非公開）に加え、無料利用となる**トライアルユースの設定により利用者の裾野を拡大**する。



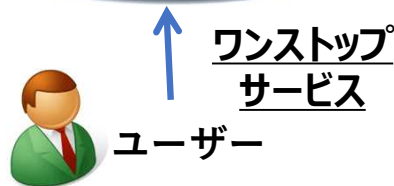
ユーザーの利便性向上

技術コーディネータの配置、**供用施設、一般機器利用サービス等の提供等課題申請システム（RING）の充実化**により、外部ユーザーの利便性を向上する。



ユーザーズオフィス

- 利用システム構築
- コーディネータの配置
- 技術支援員の配置



産業界との連携強化

中性子産業利用推進協議会等におけるJRR-3のアウトリーチ、産業応用セミナーおよび測定技術講習会開催、企業ビームラインの創設、オープンラボの設置等を検討する。

